

東日本鉄道OB会の皆さまへ



東日本旅客鉄道株式会社
常務取締役

伊藤 敦子

新年あけましておめでとうございます。東日本鉄道OB会の皆さまにおかれましては、つつがなく新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。グループ経営戦略本部コーポレート・コミュニケーション部門にて広報、総務・法務戦略部にて組織再編、マネジメント監査部にて監査などを担当しております常務取締役の伊藤です。常日頃よりご支援・ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

昨年は、OBの皆さまのご支援に加え、安全・安定輸送をベースに、社員の斬新な増収アイデアや文字どおり創意工夫のコストダウンにより、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、グループの力を結集して去る第2四半期決算では3期ぶりに連結ベースで黒字を確保することができました。

昨年から推進している組織再編は、着実に大きな成果が上がってきています。統括センター・営業統括センターや設備技術センターをはじめとする各現業機関においては、企画業務に携わる機会が拡大し、社員がお客さまに近い場所で自分の可能性を最大限発揮しています。加えて、新たな価値の創造と社会課題の解決、系統や企画部門との垣根を越えた業務に携わることで、働き方も柔軟になってきています。また、昨年10月の首都圏本部・東北本部の発足に伴い、各支社の一部業務が集約され、スピード感を持って判断できるようになってきました。今後も社員自身の成長、JR東日本グループの発展をめざし、大胆に権限移譲を行い、力強く組織再編を進めていきます。

さて、昨年はおかげさまで鉄道開業150年を迎えることができました。OBの皆さまには、多くのイベントや施策などにご協力いただき、足を運んでくださいましたこと、この場を借りて御礼申し上げます。さらに、10月6日の記念式典には天皇・皇后両陛下にご臨席いただき、天皇陛下からはこれまでの鉄道事業者の取組みに対しての労いをはじめ、非常にありがたいお言葉を頂戴いたしました。今回の150年を節目に、次の50年、100年に向けて新しい時代の鉄道を築いていく責務が私たちにはあります。次の時代にタスキを託していけるよう力を尽くしていきます。

2023年は、これまでの努力を成果として生み出し、JR東日本グループを再び成長軌道に乗せる年です。その前に、まずは2022年度通期の黒字目標を達成し、JR東日本グループが次の飛躍の時を迎えるためにも、変革の手を緩めず、スピード感を持って前進していきます。引き続き皆さまの厳しくもあたたかいご支援・ご指導を賜れば幸いに存じます。

最後になりましたが、皆さまとご家族の今年一年のご多幸をお祈り申し上げます。